



「心の成長を願って」

校庭の木々の葉がひらひらと舞い落ち、秋の深まりを感じる今日この頃です。休み時間には、元気いっぱいに校庭を走り回る子供たちの姿に癒されます。

10月11日に予定されていた紫青睦ふるさと祭りへの音楽部の出演は、雨天のため残念ながら見合わせることとなりました。地域での子供たちの活躍の場の機会がまたあればと思います。そして、先日は秋晴れの下、PTAバザーが盛大に開催され、子供たちの笑顔があふれる一日となりました。今年も、地域の方に広く参加を呼びかけたり、出店者を募ってブースを充実させたりと様々な工夫を凝らしたすばらしいバザーとなりました。1学期より長期間にわたりご準備いただいたイベント委員の方々をはじめ役員・地域協働活動推進員の皆さん、ボランティア、献品等にご協力いただいた方々に心より感謝申し上げます。今月末の学習参観にもたくさんの方にご来校いただきありがとうございました。

さて、10月27日・28日には、5年生が林間学校に行ってきました。今年は三小としては初めて宿舎となり、引率の教職員も子供たちもゼロからの準備となりました。そんな中でも子供たちは、自分たちで決めた目標を達成するために自ら考え、行動できた2日間でした。仲間とともに過ごす体験を通して大きく成長したことでしょう。

また、11月1日は本校の創立記念日です。4日の全校朝会には、子供たちに校歌について話をしたいと考えています。さらにこの日は、児童会役員児童を中心に全校で三小の創立を祝う児童主体の楽しい活動を企画しています。子供たちは、我孫子第三小学校の伝統と歴史に誇りを持ち、自らの手で新たな1ページを築こうとしているのです。その未来志向の発想力と行動力を私たちも応援していきたいと思います。

11月14日には音楽フェスタが予定されています。保護者の皆さんに頑張っている子供たちの姿を見ていただけるのを楽しみにしています。

そして、10月末から実施される我孫子市民図書館の「よむよむラリー」に合わせて、学校でも図書委員会が中心となって、読書月間の取組を行っていきます。この機会に、ご家庭でも「家読書」に親子で楽しみながら取り組んでいただきたいです。

「子供はのびのびと育て、やる気を失わせないことが肝要だ。」これは、能の大成者「世阿弥」の言葉です。結果よりも過程を大切にして、次に向けてのやる気を育てると言っています。

700年前も現代も大切なことは変わらないのでしょうか。

実りの秋。三小の子供たちの心の成長を願っています。

お知らせ

○5年生が林間学校に行ってきました！

5年生が10/27(月)と28(火)に栃木県佐野市方面へ林間学校に行きました。
「最高の思い出を作るために、一人一人が責任をもち、協力しよう」という学年目標の下、ハイキングやキャンプファイヤー、野外炊事、物作り等に取り組みました。
子供たちにとって、素晴らしい体験となったことだと思います。事前の準備や子供たちの健康管理にご協力をいただきました保護者の皆さんに感謝申し上げます。



OPTAバザーを実施し、大盛況でした！

10/18(土)にPTAバザーを開催しました。
今年度も、保護者や地域の皆さんや卒業生の皆さんにもお越しいただき、大盛況のバザーとなりました。また、子供たちの笑顔を見て、バザーが大成功のもと終了したことが実感できました。
実施にあたっては、PTAイベント委員を中心とした本部役員の皆さんや保護者の皆さんに多大なるご協力をいただけましたこと、感謝申し上げます。



○子供たちの公共施設の使い方(マナー)について

「最近、天王台北近隣センターの子供たちの使い方が気になる」という地域の方からの声をいただきました。

具体的には、

- 大声をだしたり走り回ったりする児童がいる。
- 使ったものを乱雑に放置する児童がいる。
- ごみを持ち帰らずに、自動販売機のペットボトル回収ごみ箱等に捨てて帰る児童がいる。
- 施設の方が注意しても聞き入れない児童がいる。

といったことなどです。
このご意見を受けて、学校では、

- そのような使い方をすると、他の利用者の方が嫌な気持ちになり、皆が気持ちよく使えなくなってしまう。

☆皆が気持ちよく使えるように配慮する行動や気持ちは、他の人への思いやりの気持ちであり、そのような気持ちを大切にしてほしい。

☆大人の人から注意をされたら、それは子供たちのこれからの成長のことを考えて注意をしてくれている。だからそのことに対して感謝する気持ちを大切にしてほしい。そして、感謝の気持ちをもって人の話をしっかりと聞くようにしてほしい。

ということを、各学級担任から子供たちに指導しました。

学校でも、職員一丸で、子供たちの健やかな成長を願って日々、指導、支援にあたっています。その上で、子供たちの育成には、家庭や地域の皆さんのご理解とご協力が不可欠と考えております。

ご家庭でも、お子さんに公共施設の適切な使い方について、再度お声かけください。そして、地域の皆さんにおかれましても、誤った行いをしてしまった児童には、ぜひ、積極的に声掛けや助言をしてあげてください。学校においても、継続して児童の公共施設の使い方等について、粘り強く指導、支援を行ってまいります。

「学校、家庭、地域総ぐるみで」子供たちを育んでいきたいと考えます。どうぞ、皆さんのご理解とご協力をお願い申し上げます。